社会資本総合整備計画 事後評価書 令和07年06月13日

計画の名称	良好な生活環境と健	全な下水道の創出(防災・	安全)								
計画の期間	平成27年度 ~	平成 3 1 年度 (5年間	引)						重点配分対象の該当	1	
交付対象	盛岡市										
計画の目標	下水道整備を行うこ	_ とにより、公共用水域の水	K質保全、衛生的な水環境、安全な	生活環境を創造する。							
全体事業費	閏(百万円) 合語	計 (A + B + C + D)	2,515 A	2,508 B	0 C	7 D	0	効果促進事業費の割合 C /	(A+B+C+D)	0.27 %	į

番号 1 下:				
		5		 値
1 下:	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値
1 下:		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
	下水道による都市浸水対策整備率を60.8%(H27)から61.0%(H31)に増加させる。			
下		61%	61%	61%
浸	浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(認可区域面積)(ha)			
2 浸:	浸水シミュレーション実施率を 8 % (H27) から100% (H31) に増加させる。			
浸:	浸水シミュレーションの実施率	8%	100%	100%
浸	浸水シミュレーション実施済みの排水区(ha)/浸水シミュレーションが必要な排水区(ha)			
3 ポ	ポンプ場の耐震対策実施率を33.3%(H27)から58.3%(H31)に増加させる。			
ポ	ポンプ場の耐震対策実施率	33%	58%	58%
耐	耐震対策実施箇所数(箇所)/耐震対策が必要な箇所数(箇所)			
4 ポ	ポンプ場の長寿命化対策実施率を0%(H27)から9.1%(H31)に増加させる。			
ポ	ポンプ場の長寿命化対策実施率	0%	0%	9%
改	改築工事実施済施設数(箇所)/改築工事が必要な施設数(箇所)			
5 管	管渠の長寿命化対策実施率を0%(H27)から49.4%(H31)に増加させる。			
管	管渠の長寿命化対策実施率	0%	33%	49%
改	改良工事実施済管渠延長(m)/改良工事が必要な管渠延長(m)			
6 中	中川原簡易水処理施設の改築実施率を0%(H27)から75%(H31)に増加させる。			
中	中川原簡易水処理施設の改築実施率	0%	75%	75%
改	改築工事実施済設備数(基)/改築工事が必要な設備数(基)			

	計画の成果目標(定量的指標)			
		5	定量的指標の現況値及び目標	 値
番号	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
7	50年経過管点検調査実施率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	50年経過管点検調査実施率	0%	100%	100%
	点検調査済管渠延長(km)/点検調査が必要な管渠延長(km)			
8	盛岡市合流式下水道緊急改善事業の事後モニタリング調査実施率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	盛岡市合流式下水道緊急改善事業の事後モニタリング調査実施率	0%	100%	100%
	事後モニタリング調査実施件数(件)/事後モニタリング調査が必要な件数(件)			
		T	I	T
			T	T
		<u> </u>	T	T
			1	
L]		<u> </u>	l
	備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む・	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -

		事業	地域	交付	直接	= ** +	7.E.D.J. 4	75.01.0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実績	施期間	(年度)	全体事業費	費用	個別施設計
業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)				H30 H31	(百万円)	便益比	
		一体的に	実施する	ることによ	り期待る	される効果	'				'			,	-		
		備考															
業		下水道	一般	盛岡市	直接		管渠(新設	雨水管渠の整備	L = 1.4km	盛岡市				1,478		-
	A07-001						雨水)										
							•										
		浸水対策															
		下水道	一般	盛岡市	直接		ポンプ	新設	雨水ポンプ場の整備	1 箇所	盛岡市				240		T-
	A07-002						場										
			1	1		<u> </u>		1									
		浸水対策															
		下水道	一般	盛岡市	直接		管渠(新設	浸水想定シミュレーショ	市街化区域内5,500ha	盛岡市				12		T-
	A07-003						雨水)		ン								
								1	1	<u> </u>	I						
			:														
		下水道	一般	盛岡市	直接		-	改築	ポンプ場の耐震対策	9 箇所	盛岡市				197		Τ-
	A07-004			1					1	L	I						
		総合地震															
		下水道		盛岡市	直接		管渠(改築	ポンプ場の改築実施計画	11箇所	盛岡市				54		T-
	A07-005						雨水)		の策定								
		ストック	マネジン	メント													
		下水道		盛岡市	直接		管渠(改築	管渠の長寿命化(都南処	合流管L = 2,200m	盛岡市				336		策定済
	A07-006						合流)		理分区中央処理分区)								
			1				1	<u> </u>				1 1					
		 長寿命化	及びス !	トックマネ	スジメント												
		20.3 86 10			T		T										T

基幹事業	1	事业	地域	÷/-	本 校		T	T	亜美 にわて東光々	東	+GM+42 /	事业	+/c +0 88 / /	- -	△从東光津	弗田	T
甘松声光(十)	番号	事業種別		交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/		施期間(全		全体事業費	費用	個別施設計
基幹事業(大)) 留亏		種別	対象	間接	 			(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H27 H2	8 H29 H3	0 H31	(百万円)	便益比	策定状況
		備考	.美肔 9 1	ە د د اد ه	より期付	される効果											
		下水道	一般	盛岡市	直接		管渠(办统	管渠の改築実施計画の策	合流管 L = 3,278m	盛岡市				0		1_
小足爭未	A07-007		אניו	m (-) ()	H1X		合流)	以未	定(都南処理分区中央処		- I - I - I - I - I - I - I - I - I - I				O I		
							一一流)										
									理分区)								
		ストックマネジメント															
		下水道	一般	盛岡市	直接		ポンプ	改築	中川原簡易水処理施設の	管理棟	盛岡市				186		策定済
	A07-008						場		設備更新								
		E±0//	77 - 10 -		± >*./>.						•						
				トックマ		<u> </u>		76.66		66 TM L+							1
	A07-009	下水道	一般	盛岡市	直接		ポンプ	改梁	中川原簡易水処理施設の	管理棟	盛岡市				0		-
	7.07 000						場		改築実施計画の策定								
		ストック	マネジ	メント													
		下水道	一般	盛岡市	直接		-	改築	緊急老朽化対策事業50年	L = 3.5 k m	盛岡市				5		-
	A07-010								経過管点検調査								
		緊急改築	推進														
		下水道	一般	盛岡市	直接		管渠(新設	事後モニタリング調査	モニタリング調査	盛岡市				0		-
	A07-011						合流)										
		A >+-7-+	-														
		合流改善	i	T		T	<u> </u>	1		<u> </u>	1.51						
											小計				2,508		
											合計				2,508		
			1	1		I		1	1	1							1

		事業	地域	交付	直接	市光士	1 1 01 4	1 1 01 0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実	施期	間(年度)	全体事業費	費用	個別施設語
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H27 H2	8 H2	9 H30 H	131	(百万円)	便益比	策定状态
		一体的に	実施する	ることによ	り期待で	される効果	•	•	•	•	•							•
		備考																
K道事業		下水道	一般	盛岡市	直接		-	-	土のうステーションの整	土のうステーション整備	盛岡市					1		-
	C07-001								備									
		基幹事業である A 1 1 1と併せて未整備地区へ土のうステーションを整備することにより、家屋への浸水被害の軽減を図る。									l							
		下水道	一般	盛岡市	直接		1-	新設	内水八ザードマップ作成	市街化区域内5.500ha	盛岡市					3		T -
	C07-002					│				る情報を住民に提供することI		 温水被拿	 を最					
		·土+1 于禾					1/1/1C 00 0	V (X (1) \ □			C 2 3 (130/10 g)	メン・以下	山山以	יס לטויני	0			
		下水道	6Д	盛岡市	直接		T		老朽管点検調査用資機材	答口 取付答力 / 三腰 /	盛岡市					3		1
	C07-003		一万又	盆间巾	且按		-	-		官口、取り官カメフ無人	盆凹巾					3		-
					'				整備									
		03 <u>整備</u> <u>整備</u> <u>整備</u> <u>基幹事業であるA1 4 1と併行して管渠の点検調査を一体的に行うことにより、管の破損による道路陥没や流下阻害を防ぎ、都市活動を確保する。</u>												-				
		基幹事業	であるゟ	1 1 4	1と併行	うして管渠の	点検調査	を一体的	たけうことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	を防ぎ、都市活動な	を確保す	ర 。			1		
		基幹事業	であるメ	A 1 4	1と併行	うして管渠の)点検調査	を一体的	ただうことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	を防ぎ、都市活動を	を確保す	3 .					
		基幹事業	であるノ	A 1 4	1と併行	うして管渠の	点検調査	を一体的	がに行うことにより、管の破 	損による道路陥没や流下阻害	を防ぎ、都市活動を 小計	を確保す	ა. 			7		
		基幹事業	であるノ	A 1 4	1と併行	うして管渠の)点検調査	を一体的	かに行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害		を確保す	3。 			7		
		基幹事業	であるノ	A 1 4	1と併行	うして管渠 <i>の</i>)点検調査	を一体的	かに行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害		を確保す	პ. 			7		
		基幹事業	である	A 1 4	1と併行	すして管渠 <i>の</i>)点検調査	を一体的	がに行うことにより、管の破 	損による道路陥没や流下阻害 	小計	を確保す	3. 			·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1と併行	うして管渠 <i>の</i>)点検調査	を一体的	かに行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害		を確保す	5 .			7		
		基幹事業	である,	A 1 4	1と併行	うして管渠の	点検調査	を一体的	がに行うことにより、管の破 	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	3.			·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1と併行	うして管渠 <i>の</i>	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	3.			·		
		基幹事業	である。	A 1 4	1と併行	うして管渠 <i>の</i>	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	3.			·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1と併行	了して管渠の	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	3.			·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1と併行	了して管渠の	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	3.			·		
		基幹事業	である。	A 1 4	1 と併行	うして管渠 <i>の</i>	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	3.			·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1 と併行	了して管渠の	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す	55.			·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1 と併行	了して管渠の	点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す				·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1 と併行	了して管渠の	の点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す				·		
		基幹事業	である,	A 1 4	1 と併行	うして管渠 <i>の</i>	の点検調査	を一体的	方に行うことにより、管の破	損による道路陥没や流下阻害	小計	を確保す				·		

	事後	評価	
事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
	策定委員会において、進捗状況及び今後の予定		J
		ハまのナナ	
		公表の方法	
		市のホームページに掲載	
事業効果の発現状況			
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	低減が図られた。	7の大きい箇所の把握ができた。ま 髪能不全となるリスクの低減が図ら	4%に上昇し、浸水実績がある箇所の浸水リスク また、内水ハザードマップ作成により住民に浸水 られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)			
特記事項 (今後の方針等)			

- ・浸水被害リスク軽減のために、次期社会資本総合整備計画(H30年度からR4年度の5ヵ年)においても、浸水実績がある箇所を中心に雨水管渠整備を実施する。 ・浸水シュミレーションについて、未実施区域は、次期社会資本総合整備計画(H30年度からR4年度の5ヵ年)において解析を進めていく。また、内水ハザードマップの作成・公表も順次進めていく。 ・公共下水道の適切な機能確保のために、次期社会資本総合整備計画(R2年度からR6年度の5ヵ年)においても、老朽化した下水道管渠の長寿命化対策及びポンプ場
- の耐震対策を進めていく。

目	標値の達		
= -	指標(略	影称)	
笛写	目標値 /	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	下水道に	よる都市浸水対策整備	率
1	最 終 目標値	61%	業務を効率的に進め、目標値に到達できた。
	美縜他	61%	
	浸水シミ	ュレーションの実施率	
2	最 終 目標値	100%	シュミレーションを実施する上での検討事項が想定より多く、シュミレーション実施可能な範囲に限りがあったため。
	最 終 実績値	18%	
	ポンプ場	の耐震対策実施率	
3	最 終 目標値	58%	業務委託に期間を要し、工事に取りかかれなかったため。
	最 終 実績値	33%	
	ポンプ場	の長寿命化対策実施率	
4	最 終 目標値	9%	業務委託に期間を要し、工事に取りかかれなかったため。
	最 終 実績値	0%	
	管渠の長	寿命化対策実施率	
5	最 終 目標値	49%	工事の遅れにより目標を下回ったため。
	最 終 実績値	17%	

	標値の達用	北 14 7 0	
P	だ 神 / 吹	以1八ル : チセー ヽ	
番号	指標(略		ᄗᄺᄷᄔᅁᄹᄷᇆᆇᅑᄖᇵᄑᄗ
		大視但	目標値と実績値に差が出た要因
	中川原間	易水処理施設の改築実施	
6	最 終 目標値	75%	効率的に業務を実施でき、目標を上回った。
	最 終 実績値	100%	
	50年経過	!管点検調査実施率	
7	最 終 目標値	100%	目標を達成できた。
	最 終 実績値	100%	
	盛岡市合		業の事後モニタリング調査実施率
8	最 終 目標値	100%	目標を達成できた。
	最 終 実績値	100%	